

## 大阪市立 平野南小学校



**住所** 〒547-0031 大阪市平野区平野南 2-3-8

**連絡先** ☎ 06-6709-5500 ☎ 06-6799-0620

**校長** 松永 かおり

**開校** 昭和 35 年

**URL** <https://swa.city-osaka.ed.jp/e751727>

### 教育目標(校訓)

強く 正しく 明るく

### 教育方針

「子ども一人ひとりが輝く笑顔あふれる学校」

### 重点目標

児童の「わかった・できた・役に立った」を大切に  
して、学習活動を積み上げることで、校訓の「強く・  
正しく・明るく」を備えた児童の育成を図る。

### 大切にしたいこと

～心豊かななかかわりで励ましの声かけ～



## 運営に関する計画

### 【概要】

- ・外国語科の研究に努め、「わかる」授業の実践に力を入れています。
- ・各種の体験・経験活動等を計画的に実施することで、児童の興味関心を高め学力向上につなげます。
- ・6年生のヒロシマ修学旅行を中心にした平和学習や、国際クラブ「オリニフェ」を中心に多文化理解教育に取り組んでいます。

### 【年度目標】

#### 【安全・安心な教育の推進】

- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。【令和7年度:4.35】
- ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を73.7%以上にする。【令和7年度:71.6%】

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における、国語の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1.1ポイント減少させる。  
【令和7年度:5年31.1ポイント、4年34.4ポイント、3年49.3ポイント】
- ・小学校学力経年調査における、算数の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1.7ポイント減少させる。  
【令和7年度:5年28.8ポイント、4年31.7ポイント、3年52.2ポイント】
- ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。【令和7年度:70.9%】

#### 【学びを支える教育環境の充実】

- ・小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を45%以上にする。  
【令和7年度:6年67.7%、5年57.8%、4年38.1%、3年55.7%】
- ・時間外勤務時間について、年720時間を超える教員をゼロにする。【令和7年度:1人】
- ・小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、57.4%以上にする。【令和7年度:54.8%】

### 校長先生からのメッセージ

平野南小学校は、昭和35年(1960年)4月に開校し、今年で67年目を迎えました。子どもの「わかった・できた・役に立った」という思いを大切にした教育活動を推進しております。学校の特色をいかした取り組みができるように、学びのスタイルなど、工夫と改善を図り、「笑顔あふれる学校」として、教育活動をすすめてまいりますので、よろしくお願いします。

校長 松永 かおり

## 令和7年度「全国学力・学習状況調査」

| 国語 | 算数 | 理科 | 平均正答率(%) |
|----|----|----|----------|
| 49 | 45 | 39 |          |

## ●結果の概要／

平均正答率では、国語・算数・理科すべてで全国、大阪市の結果を下回っている。国語では、全国とは17.8ポイント、大阪市とは16ポイントの開きが見られる。また、算数では、全国・大阪市とは13ポイントの開きが見られる。さらに、理科では、全国とは18.1ポイント、大阪市とは16ポイントの開きが見られる。

平均無解答率については、国語・算数・理科すべてで全国、大阪市の結果より高くなっている。平均無解答率の高さが平均正答率を押し下げてしまっている要因の一つであると考えられる。

## ●取組の成果と課題／

〔国語〕「情報の扱い方」と「書く」内容については、令和6年度の結果と比較すると向上が見られた。令和6年度、大阪市の取組施策のひとつである「学力向上支援チーム事業」の対象校として、国語科において研究を進めてきた。その結果が表れていると推察される。しかし、漢字学習等の基礎的な分野での習熟に課題が見られた。

〔算数〕分数の足し算の問題は、全国・大阪市より正答率が高かった。また、「変化と関係」の領域については、令和6年度の結果より向上が見られた。令和6年度、大阪市の取組施策のひとつである「学力向上支援チーム事業」の対象校として、子どもたちの学習習慣や基礎学力の定着等に向け、放課後学習等の個別支援の強化を図った。その結果が表れていると推察される。しかし、記述問題については、課題が残る結果となった。

〔理科〕すべての領域において全国、大阪市の結果を下回っている。特に「地球」を柱とする領域で課題がみられた。

## 令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

|    | 握力<br>(kg) | 上体起こし<br>(回) | 長座体前屈<br>(cm) | 反復横とび<br>(回) | 20mシャトルラン<br>(回) | 50m走<br>(秒) | 立ち幅とび<br>(cm) | ボール投げ<br>(m) | 合計得点<br>(点) |
|----|------------|--------------|---------------|--------------|------------------|-------------|---------------|--------------|-------------|
| 男子 | 14.57      | 22.21        | 38.32         | 32.04        | 50.75            | 9.67        | 135.00        | 21.25        | 51.79       |
| 女子 | 13.78      | 17.06        | 43.88         | 28.91        | 33.21            | 10.18       | 113.44        | 10.79        | 47.81       |

## ●結果と概要／

実技調査における体力合計点は、男子では大阪市平均を上回るものの全国平均を下回った。女子では大阪市・全国平均ともに下回った。種目別では、長座体前屈が男子女子ともに全国平均を上回ったが、握力・反復横とび・50m走・立ち幅とびで男子女子ともに全国・大阪市平均を下回った。

質問紙調査の「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目に対し、肯定的に回答する児童の割合は、男子では全国・大阪市平均を上回ったが、女子では全国・大阪市平均を下回った。

1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子では全国・大阪市平均より少ないが、女子では全国・大阪市平均より多い。

## ●取組の成果と課題／

本校は、休み時間や放課後に外遊びをすることが好きな児童が多く、学級担任を交えたクラス遊びなども盛んに行なわれている。また、体力向上のための持久走や大縄跳びを全校で取り組むことで、冬季の運動量確保に努めている。しかし、校区の特性上公園が少なく、一旦家に帰ると遊べる場所が少なく発達段階に即した運動量を確保しにくい現状がある。質問紙調査の「スクリーンタイム5時間以上」の児童の割合が全国・大阪市平均よりも高いことから放課後の運動量が少ないことが示唆される。今後も放課後の校庭開放をはじめ、遊びや運動ができる機会や場所を提供できるよう努めていきたい。

質問紙調査の「体育の授業は楽しいですか」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合は、男子では全国・大阪市平均を上回ったが、女子では全国・大阪市平均を下回った。今後も体育科の授業改善を行うことで、運動をすることの楽しさや大切さ及び必要性が実感できる指導に繋げていきたい。

## 学校の特徴



対面式



給食当番



2年生との学校探検



春の遠足



幼保小交流



秋の遠足



授業の様子



6年生とのプール



休み時間の様子



秋の遠足



授業の様子



運動会

## 1年生の1年間